

平成9年度第2回幹事会報告

平成9年7月17日
国立京都病院カンファレンス室

[報告・協議事項]

事務局(総務・会計・企画): ①入会、会員異動の報告→当誌17巻1号参照。 ②総務・会計・企画について、会計の中間報告では順調な収支決算状況が報告され他は特になし。 ③病院図書室研究会との共同事業打合せ会(97/05/10 聖路加国際病院)→当誌17巻1号参照。 ④第69回近畿地区医学図書館協議会例会(97/07/02 大阪市立大学医学部) 小田中徹也、井上浩美(大阪警察病院)が出席。第3回シンポジウムの企画について、10月24日に奈良先端科学技術大学院大学を見学する内容の企画案が報告された。また、病院図書室からの医学図書館への文献依頼について特に問題がある場合は、事務局あるいは直接、依頼した病院へクレームを出して欲しい旨伝えた。 ⑤第4回医学図書館員基礎研修会(97/08/6-8 奈良医科大学図書館)→徳田雅子、須井麻由美の2名参加。 ⑥NHK新潟より患者図書館について問合せがあり、京都南病院と雑『病院』の連載記事を紹介した。

研修部: 勉強会(97/06/04 国立大阪病院)への参加者は17名。第83回研修会(97/08/9-10 コミュニティ嵯峨野)への準備状況が報告された。その中で、電話回線の開設などの会場設営とワークショップの組分けやテーマについて特に検討した。また、2回の部会会議と会計の収支状況についても報告があった。

会誌編集部: 会誌17(1)'97から英文目次の掲載。会誌17(2)'97では「紛らわしい相互貸借あれこれ」と連載記事を掲載。会誌17(3)'97は8月のセミナーを記事化する予定であることが報告された。会計書の提出。

統計調査部: 担当幹事は欠席したが、7月14日、会員へ今年度の調査依頼状を発送したことが文書で報告された。

目録編集部: レイアウト見本とともに編集の経過と予定、検討事項が提出された。そのうち、頒布価格については会員は7,000円、非会員は12,000円とすることにし、200部作成することにした。なお、今回は外注先のサンメディアK.K.の湯浅氏が出席した。また、当初より経費の上乗せが予想され、了承された。

[決定事項]

- (1) 会員委託サービスセンターの見直し。相互貸借ハガキ、BLLDセンター、計算機センター、図書室実務研修病院などについて、現状を把握し、見直すことにした。
- (2) 協議会パンフレットの作成。会則、組織、活動、事業を紹介するとともに、相互貸借の基本と見本など具体例を盛り込んだパンフレットを作成し、既会員と新入会員へ配布することにした。事務局で準備を担当し内容案を次回幹事会に提案。
- (3) 第3回幹事会は10月2日に淀川キリスト教病院で予定。

—— 会員名簿訂正 ——

松山赤十字病院
担当者: 小野和恵→松本理菜